歴史総合-DX

 **1850年（嘉永3）　栄力丸の漂流**

19世紀半ばのこの年は、12代将軍・徳川家慶（在職1837～1853）の時代。江戸で定評の「灘の酒」を積む兵庫（兵庫県）の樽廻船「栄力丸」が、江戸からの帰路に紀州（和歌山県）沖で嵐に遭遇した。53日あまり海原を漂流し、太平洋上でアメリカの捕鯨船に救助され、アメリカ本土に連れていかれる事件が起こった。この船に乗り合わせていた船乗りたちが、翌年（1851年）にゴールドラッシュで沸くサンフラシスコの街に上陸後、カメラの前に座り、写真撮影された最初（現存最古）の日本人となった。